

(お知らせ)

## 福島第一原子力発電所 2号機における残留熱除去系弁の不具合について

平成 18 年 8 月 26 日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

当所 2号機(沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット)につきましては、定格出力にて運転中のところ、平成 18 年 8 月 25 日午後 10 時 52 分から実施した残留熱除去系\*<sup>1</sup> 電動弁開閉の定例試験中に、電動弁の一つである低圧注水系 A 系の注入弁が開動作の途中で停止し、全開にならないことが確認されました。そのため、同日午後 11 時 35 分、保安規定第 39 条で定める「運転上の制限\*<sup>2</sup>」を満足していないと判断いたしました。

その後、運転上の制限を満足しない場合に要求される措置として、残りの低圧注水系 B 系の機能が健全であることを確認しております。

今後、原因について調査を行い、対策を講じることといたします。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

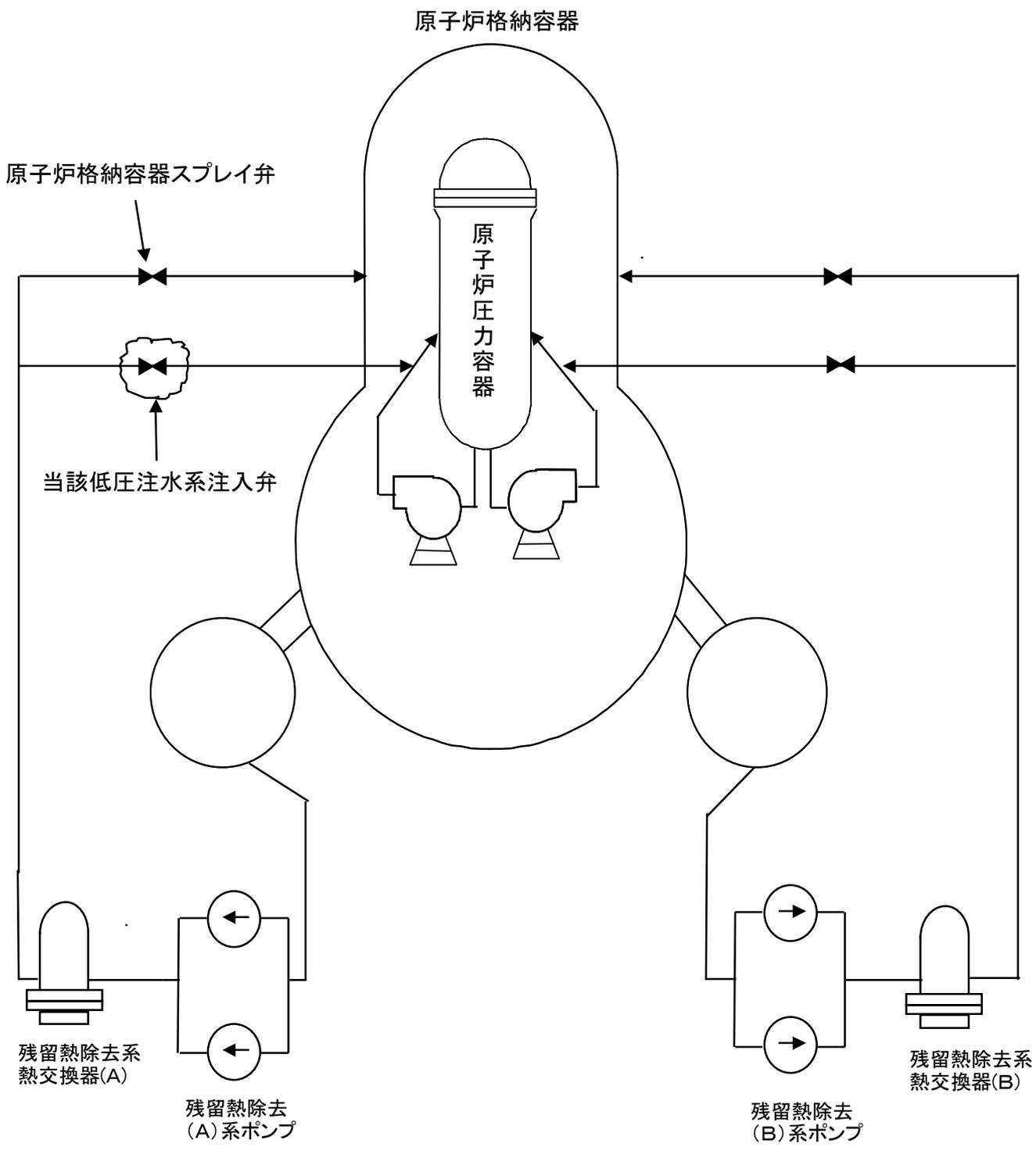
以 上

### \* 1 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却(燃料の崩壊熱の除去)機能とともに、非常時に原子炉水位を維持する低圧注水系、原子炉格納容器内の冷却を行う格納容器スプレイ系等の機能を持つ。(A系、B系の2系統ある)

### \* 2 運転上の制限

保安規定では原子炉の運転に関し、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足しない場合に要求される措置」等が定められており、運転上の制限を満足しない場合には、要求される措置に基づき対応することになる。



2号機残留熱除去系統概略図